

◆あいさつ運動

児童生徒のコミュニケーション能力の育成、基本的生活習慣の育成をめざし、あいさつの輪を広げるため、各校であいさつ運動を展開します。児童会、生徒会活動や地域の各種団体、PTA等とも連携して各校で工夫した取組を行います。

◆60(ロクマル)・15(イチゴー)キャンペーン (P6・26参照)

「60分早寝・15分早起き・朝ごはんを食べよう」の取組を継続的に推進し、児童生徒の基本的生活習慣の定着を目指します。

◆チャレンジ・ハッピーデー (P26参照)

テレビやゲームの時間を減らし、家庭での時間の使い方を親子で見つめ直す取組を進め、家庭での学びを推進します。

毎月第4週を「つやまっ子 チャレンジ・ハッピーデー」ウィークと定め、家族との有意義な時間を創り出す働きかけを展開します。

③体験活動の充実

社会性や豊かな人間関係を育むため、「ふるさと学習」や「職場体験学習」等の体験を重視した教育を推進します。

また、新津山洋学資料館など地元教育関係施設や地域の特色を学校教育に活かし、ふるさと津山を愛する子どもを育てます。

◆ふるさと学習推進事業

地域の人材を活かし、地域の自然や文化を学ぶとともに、児童生徒と保護者や地域の人々が触れ合うボランティア活動や、地域の特色を活かした豊かな体験活動等を通して、ふるさとを愛する心を培い、心の教育の推進をめざします。新津山洋学資料館など、地域の教育資産を積極的に活用します。

◆つやまっ子・デビュー14 (岡山チャレンジ・ワーク14)

津山市の未来を担う子どもたちに対し、豊かな社会性や自立心を養い、社会の規範や礼儀を体得し、たくましく豊かに生きる力を育むために、家庭・学校・地域社会が連携し、社会体験活動をキャリア教育の一環として積極的に推進します。市内全中学校の2年生約1100人が、3日間市内の企業等へ出かけて、体験活動に取り組みます。

3. 生徒指導の充実

各校における生徒指導体制を確立するとともに、小中学校のきめ細かな連携を一層推進し、積極的な生徒指導の充実に努めます。

スクールカウンセラー、スクールサポーター等の相談員の配置や適応指導教室「ポポロつやま」「鶴山塾」による相談事業の充実を図ります。

不登校・問題行動への対応では、健全育成団体や青少年育成センター指導員との行動連携を図ります。また、ケース会議の開催等による関係機関との連携を図ります。

◆相談事業の充実

- サポートチーム事業
- 自立支援事業
- 相談員・支援員の配置
 - ・スクールカウンセラー（全中学校、1小学校）
 - ・スクールサポーター（全中学校、4小学校）
 - ・なかよし支援員（4小学校）
 - ・生徒指導推進協力員（3小学校）



◆中学校生徒指導担当者会の定例化

- ・津山警察署生活安全課、青少年育成センター指導員との連携
- ・ケース会議等学校の体制づくりへの支援

◆学校問題解決支援事業（新規）

- ・学校問題相談窓口の設置
- ・健全育成課との連携（連絡会議の定例化）

◆不登校対策プロジェクト（新規）

- ・鶴山塾との連携を密にした適応指導教室（「ポポロつやま」）の充実
- ・不登校、長期欠席の児童生徒数の減少

4. 体力づくりの推進と健康教育の充実及び安全確保

児童生徒の体力づくり推進のために、新体力テスト等の結果を踏まえ、各校の体育の授業やスポーツ活動の活性化を図ります。

また、授業や特別活動での健康教育・食育の充実に努めます。

児童生徒が安全安心な学校生活を過ごせるよう、「つやま学校園安心安全メールシステム」を円滑に運用し、各校での防犯教室開催や安全ボランティアと連携した防犯活動の推進など児童生徒の安全確保の取組を推進します。

◆体力づくり・健康教育

- 生活習慣病予防等を目指した歯・口の健康づくり調査研究事業

【H21・22年度 社団法人 日本学校歯科医会】

- 全国体力・運動能力、運動習慣状況調査の全校実施
- 栄養教諭・学校栄養職員による食に関する授業の推進
- 基本的な生活習慣の確立
 - ・「60・15キャンペーン」の推進
 - ・「チャレンジ・ハッピーデー」の取組の充実（P26参照）



◆安心な学校づくり

- 「つやま学校園安心安全メールシステム」の円滑な運用と加入促進
- 地域学校安全指導員（スクールガードリーダー）の配置